

TV-NAVI JUMPER

取扱説明書

この度は、BLITZ『TV JUMPER』ならびに『TV-NAVI JUMPER』をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みの上、正しく使用してください。
製品の保証については同梱の保証書をご参照ください。

● 自動車ディーラー入庫時について

本製品を装着すると車両の保証や点検が受けられない場合があります。
車検、点検などの目的で車両を自動車ディーラーなどに入庫する場合は、本製品を取り外してから入庫してください。

注意記号

▲危険	この表示を無視して、誤ったご使用をすると、身体や財産に重大な被害が発生する可能性が想定される内容であることを示しています。
▲警告	この表示を無視して誤ったご使用をすると、法律に違反する可能性が想定される内容であることを示しています。
▲注意	この表示を無視して誤った取り付けをすると、怪我もしくは車両および製品の故障・破損の発生が想定される内容であることを示しています。
▲重要	本製品を使用する上で知っておいて頂きたいことを示しています。

作業に伴う注意事項（必ずお読みください）

▲注意	取り付けの際には必ずエンジン停止し、5分以上経過してからバッテリーのマイナス端子を外し作業を行ってください。 また、オーディオや時計機能などのメモリー内容が消えてしまいますので、あらかじめメモを取るなどして作業完了後に再度設定を行ってください。
▲注意	車両内装のパネル、および部品などを外す場合は、破損、汚損、およびネジなどの紛失に十分注意して作業を行ってください。
▲注意	コネクターを外す際は、コネクターのロックをしっかりと押さえ、まっすぐに引き抜いてください。 無理に引っ張るとユニット内部の基板やコネクターの破損、ハーネスの断線の原因となります。
▲注意	ハーネスの接続はコネクターがロックするまでしっかりと差し込み、接続不良が起こらないよう注意してください。
▲注意	本製品の本体ユニットやハーネスは車両側の適切な場所にテープやタイラップを使用して固定してください。 固定しないと配線の断線や接触不良、本体ユニットの干渉による異音発生の原因となります。
▲注意	本製品を取り付けの際には、シートレール、ベダル類、ドアなど可動部にハーネス類や本体を挟み込んだり、また挟まる可能性のある場所には絶対に固定しないでください。本製品の破損や断線による事故、火災、感電などの恐れがあります。
▲危険	取り付け終了後に走行テストを行う際は、必ず2名乗車し、助手席の方が操作を行ってください。
▲注意	アース線の接続を必要とする商品の場合、接続が不十分だと本製品は正常に動作致しません。 必ずボディアースであることを確認して接続してください。
▲注意	コンパクトスイッチ付属の商品は必ずスイッチを接続しなければ、走行中のTVの視聴、ナビの目的地設定を行うことができません。
▲重要	外した純正部品は、捨てずに保管してください。
▲重要	あらかじめ取り付けを行う車両の内装脱着要領の資料を手配し、慎重に作業を行ってください。
▲重要	本製品取り付けのためにバッテリーマイナス端子を取り外す前に、セキュリティの契約、設定状況の確認と解除を行ってください。 セキュリティの解除が行われなかった場合には、ロックが解除できず使用できなくなる可能性があります。

ご使用上の注意事項（必ずお読みください）

▲危険	本製品は運転者以外の同乗者が、走行中にTVの視聴、ナビゲーションの目的地設定を行うための製品です。 運転者は運転中、絶対にTVを見ないでください。また、目的地設定などのナビゲーションの操作も行わないでください。
▲警告	運転者は走行中にナビゲーションのモニター画面を注視すると安全運転義務違反となりますので、絶対に注視しないでください。 また、同乗者がいない場合の走行中のTV視聴は安全運転義務違反となりますので、絶対にTVを視聴しないでください。
▲重要	走行中にTV画面からナビゲーションの地図画面へ切り替えると、車両の現在位置と地図上の自車位置にズレが生じる場合があります。
▲重要	走行中は電波の受信状況が悪くなるため、停車時に比べてTVの映りが悪くなります。
▲重要	本製品使用中に発生した事故・違反行為・車両の故障または損害などの責任については、一切保証いたしかねます。 予めご了承ください。
▲重要	ディーラーや販売店によっては、本製品を取り付けた状態で車両の保証や点検を受けられない場合があります。 入庫する際には、本製品を取り外してから入庫してください。

動作上の注意事項（必ずお読みください）

▲重要	「TV JUMPER」が適合となっても、ナビゲーションの操作が可能となる車両があります。 詳しくは、本製品の適合表をご確認ください。
▲注意	走行中にTV画面からナビゲーションの地図画面へ切り替えると、車両の現在位置と地図上の自車位置にズレが生じる場合があります。 その場合は本製品をOFFにし、しばらく走行するとGPSを受信し、自動的に自車位置が修正されます。 停車中は正確に自車位置を修正できませんので、必ず走行してください。
▲注意	本製品をONにした時点で、ナビゲーションの自車位置が不正確となる車両があります。 ノーマルモードに切り替えて、しばらく走行すると正常動作に戻ります。
▲注意	本製品がOFF状態ではコンパクトスイッチのLEDが淡く点灯します。この状態はノーマルと同じ状態ですので、TVの視聴およびナビゲーションの目的地設定などの操作は行うことができません。（一部商品除く）
▲重要	本製品使用時に一部車両でメンテナンスモニターやエネルギーモニター画面上のタイヤの回転が停止する場合があります。
▲重要	本製品使用時に一部車両でメンテナンス機能が正常に動作しなくなる（表示に誤差が生じる）場合があります。

製品についてのご相談及びお問い合わせについて

製品に関するお問い合わせ、連絡は電話にてお願い致します。

☐連絡先 株式会社ブリッツ サポートセンター
☐住所 東京都西東京市新町4-7-6
☐TEL 0422-60-2277

<http://www.blitz.co.jp/>

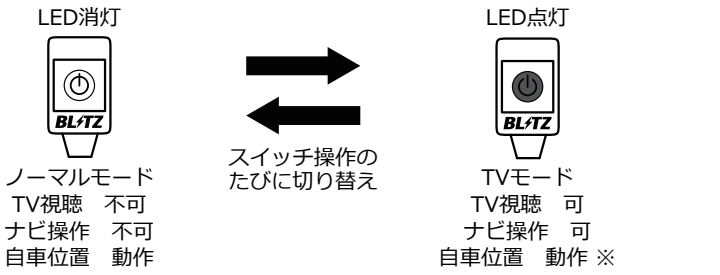
NST51

操作・取付説明書

キット内容

・ 本体ユニット	×1	・ サービスパネル T2	×1
・ TVハーネス	×1	・ 両面テープ	×1
・ コンパクトスイッチ	×1	・ 取扱説明書	×1
・ コンパクトスイッチアダプター	×1	・ 保証書	×1

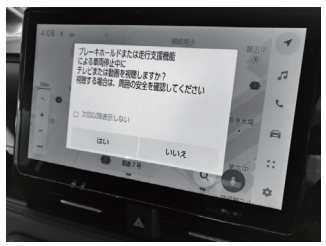
コンパクトスイッチ動作



※ 使用上の注意事項をご確認ください。

ブレーキホールドについて

車両のブレーキホールド機能を ON にし、信号停止などでブレーキホールド機能が作動した場合に右写真のような確認画面が表示されます。確認画面を表示しないようにするためには、ナビゲーションの設定で確認画面の表示有無の設定を変更してください。詳しくは、ナビゲーションシステム取扱書をご確認ください。



機能停止のエラー表示が出た場合について

本製品を TV モード (TV 視聴可能状態) で走行中に、右写真のような機能停止のエラー表示が出た場合は、本製品を OFF (TV 視聴不可状態) にし、ナビゲーションの自車位置と動作が正常な状態に戻った後、安全な場所に車両を停車し、エンジンの再始動を行い、エラー表示を消してください。エラー表示が出たままの状態でも車両の走行は可能ですが、レーダークルーズコントロールや Advanced Drive (渋滞時支援) などの Toyota Safety Sense、トヨタチームメイトの一部の運転支援システムが使用できない状態となっていますので、ご注意ください。



TV、映像視聴中の動作について

本製品は TV モード時 (TV 視聴可能状態) で約 60km/h※以上で一定時間走行を続けると、TV および映像視聴中約 2 分間隔※で地図画面や黒画面が割り込み、再び TV および映像画面に戻るという画面の遷移が生じます。これは車両のエラー回避のためにソースの割り込みを行う本製品の制御によるもので、本製品やディスプレイオーディオの不具合や故障ではありません。

※ 条件となる車速や制御時間は、車両や走行の状況・条件などで変わることがあります。

使用上の注意事項

- 本製品を TV モード (TV 視聴可能状態) で使用する場合、自社位置の動きが下記のような状態となりますが異常ではございません。予めご了承ください。
- ナビゲーション使用時は必ずノーマルモード (TV 視聴不可状態) でご使用ください。
- ・ 自車位置が純正のように滑らかではなく、若干精度も悪くなります。
 - ・ 並走する道路がある場合、カーブや分岐地点などで並走する道路にズレて進んでしまう場合があります。この場合、並走区間が終了するまで、現在走行している道路に戻らない場合があります。
 - ・ ルート案内の際、音声案内がナビ画面に表示される残り距離と異なる距離の案内となる場合があります。
 - ・ 車速が約 150km/h 以上になると、TV 視聴ができなくなります。車速が約 150km/h を下回ると TV が視聴可能な状態に戻ります。
 - ・ Toyota Safety Sense および、トヨタチームメイトの一部システムが正常に動作しない場合があります。
 - ・ 自動車メーカーの仕様変更や、車両、ナビゲーションのシステムアップデートが行われた場合、本製品が正常に動作しなくなる場合があります。

純正ドライブレコーダーについて (搭載車のみ)

本製品は TV モード時 (TV 視聴可能状態) ではナビゲーションの自車位置の動作が純正とは異なるため、標準装備およびメーカーオプションのドライブレコーダーで記録したデータの位置情報が不正確となる場合があります。「手動録画」「イベント録画」「駐車中の録画」の「録画地点」で地図上に表示されるアイコンが、実際に録画した地点とは異なる場所に表示される場合があります。録画日時や走行速度は正確な情報が記録されます。

ASL 機能について

本製品を TV モード時 (TV 視聴可能状態) で使用した場合、車速に応じて音量を調整する ASL の機能が正常に動作しない場合があります。オーディオの音量が安定しないなど正常に動作しない場合は必要に応じて ASL の機能を OFF にするか、本製品を OFF (TV 視聴不可状態) にしてください。

ナビゲーションの地図データ更新中の使用について

本製品が適合するナビゲーションはマップオンデマンドのサービスにより、地図データの更新がバックグラウンドで自動的に行われます。本製品が TV モード (TV 視聴可能状態) の状態で地図の更新が始まった場合、地図画面に切り替える操作を行っても「地図画面に切り替わらない」「地図画面が真っ暗」、また「ナビが再起動する」といった症状が発生する場合があります。この場合は本製品を OFF (TV 視聴不可状態) にして、地図の更新が完了後、ナビゲーションの再起動を行ってから本製品を使用してください。また、マルチインフォメーションディスプレイに地図情報を表示している場合は、上記症状の発生頻度が高くなる傾向があります。マルチインフォメーションディスプレイの表示を地図表示以外の表示に切り替えることで症状の発生頻度が低減します。ナビゲーションの地図データの更新タイミングは、更新の対象となる道路や場所によって変化します。

ナビゲーションの地図データの更新状況については、下記画面でご確認いただけます。

メインメニュー → ナビゲーション → 地図更新

アルファード/ヴェルファイア (R5.6- #40系)

▲ 注意

- ・バッテリーのマイナス端子を外す作業を行う際は、イグニッションOFF後、6分以上経過してから、バッテリーの取り外し作業を行ってください。
- ・ナビゲーションのセキュリティロックの設定が有効になっている場合、作業後にパスワードの入力が必要となります。あらかじめセキュリティロックの設定をOFFにするか、作業後に車両の使用者様にパスワードの入力を依頼してください。
- ・イグニッションOFF後もナビ画面が表示し続ける場合は、ACCカスタマイズの設定をONに変更してください。

- ① バッテリーのマイナス端子を外します。
- ② かん合 (19 か所) を外し、左右のインストルメントパッド ASSY を取り外してください。(図 A、B) インストルメントパッド後方を上に引き上げ、インストルメントパッド前方を後ろに引き取り外します。
- ③ ラジオレシーバー ASSY 左右のボルト (計 4 か所) を外し、かん合 (8 か所) を外して、ラジオレシーバー ASSY を手前に引き出してください。(図 C、D、E)
- ④ ハーネス接続か所を参照し、本製品の TV ハーネスを接続してください。(図 F)
- ⑤ 適当な場所へ本製品本体を収納してください。
- ⑥ 配線の潰れや金属部分への接触がないか確認しながら、ラジオレシーバー ASSY を戻してください。
- ⑦ バッテリーのマイナス端子を取り付けます。
- ⑧ 動作確認をして、正常なことが確認できたら、内張り等を元に戻して作業終了です。

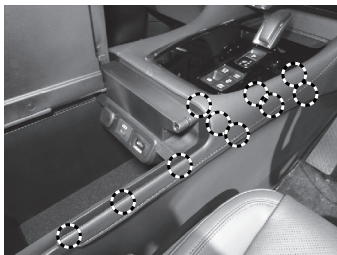


図 A

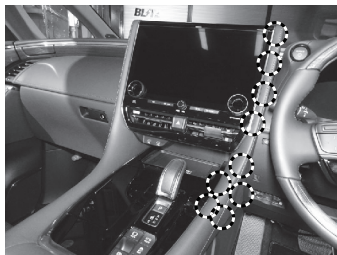


図 B



図 C



図 D



図 E

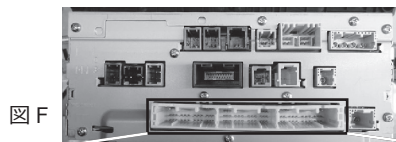
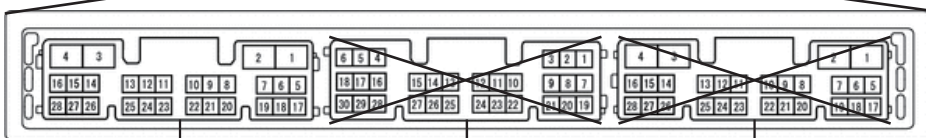


図 F

▼ 注意 ▼
ラジオレシーバー ASSY を背面から見えています。左右の間違いにご注意ください。



28 極コネクター
左側 (運転席側) に
本製品のハーネスを接続してください。

30 極コネクター

28 極コネクター
右側 (助手席側) には
本製品は接続しません。 ● かん合 ○ ボルト

取り付け後の確認作業事項

バッテリー端子を外す事でシステムの学習が一部リセットされます。必要に応じて学習を行ってください。事前に自動車ディーラーに必要な学習、再設定方法を確認してから作業を行うことをお勧めします。下記は一例となります。

- ★フロントカメラシステム、アダプティブハイビームシステム
メーター車速 35km/h 以上で 5 秒以上直進走行する。
- ★ストップアンドスタートシステム (搭載車のみ)
約 5 分から 60 分間ストップアンドスタート制御が作動するまで走行する。

▲ TV、映像視聴中の動作について ▲

本製品は TV モード時 (TV 視聴可能状態) で約 60km/h※以上で一定時間走行を続けると、TV および映像視聴中約 2 分間隔※で地図画面や黒画面が割り込み、再び TV および映像画面に戻るといった画面の遷移が生じます。これは車両のエラー回避のためにソースの割り込みを行う本製品の制御によるもので、本製品やディスプレイオーディオの不具合や故障ではありません。

※ 条件となる車速や制御時間は、車両や走行の状況・条件などで変わることがあります。

▲ 使用上の注意事項 ▲

本製品を TV モード (TV 視聴可能状態) で使用する場合、自社位置の動きが下記のような状態となりますが異常ではございません。予めご了承ください。
ナビゲーション使用時は必ずノーマルモード (TV 視聴不可状態) でご使用ください。

- ・ 自車位置が純正のように滑らかではなく、若干精度も悪くなります。
- ・ 並走する道路がある場合、カーブや分岐地点などで並走する道路にズレて進んでしまう場合があります。この場合、並走区間が終了するまで、現在走行している道路に戻らない場合があります。
- ・ ルート案内の際、音声案内がナビ画面に表示される残り距離と異なる距離の案内となる場合があります。
- ・ 車速が約 150km/h 以上になると、TV 視聴ができなくなります。車速が約 150km/h を下回ると TV が視聴可能な状態に戻ります。
- ・ Toyota Safety Sense および、トヨタチームメイトの一部システムが正常に動作しない場合があります。

プリウス (R5.1- MXWH60 系, ZVW60 系)

▲ 注意

- ・ バッテリーのマイナス端子を外す作業を行う際は、イグニッションOFF後、6分以上経過してから、バッテリーの取り外し作業を行ってください。
- ・ ナビゲーションのセキュリティロックの設定が有効になっている場合、作業後にパスワードの入力が必要となります。あらかじめセキュリティロックの設定をOFFにするか、作業後に車両の使用者様にパスワードの入力を依頼してください。
- ・ イグニッションOFF後もナビ画面が表示し続ける場合は、ACCカスタマイズの設定をONに変更してください。

- ① バッテリーのマイナス端子を外します。
- ② かん合 (8 か所) を外し、インストルメントクラスタフィニッシュパネル ASSY を手前に引き取り外してください。(図 A)
- ③ かん合 (9 か所) を外し、インストルメントクラスタフィニッシュパネルアッパーを取り外してください。(図 B、C)
- ④ ボルト (4 か所) を外し、かん合 (4 か所) を外して、ラジオレシーバー ASSY を手前に引き出してください。(図 D、E)
- ⑤ ハーネス接続か所を参照し、本製品の TV ハーネスを接続してください。(図 F)
- ⑥ 適当な場所へ本製品本体を収納してください。
- ⑦ 配線の濡れや金属部分への接触がないか確認しながら、ラジオレシーバー ASSY を戻してください。
- ⑧ バッテリーのマイナス端子を取り付けます。
- ⑨ 動作確認をして、正常なことが確認できたら、内張り等を元に戻して作業終了です。



図 A



図 B

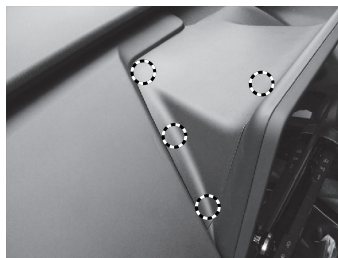


図 C

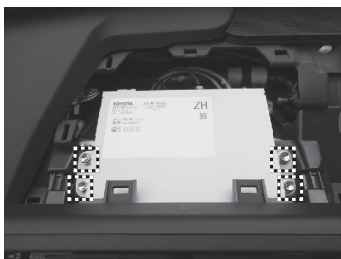


図 D

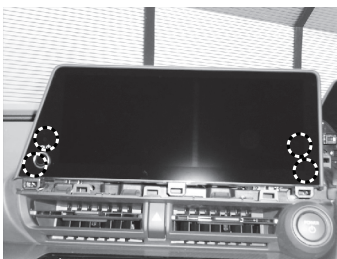
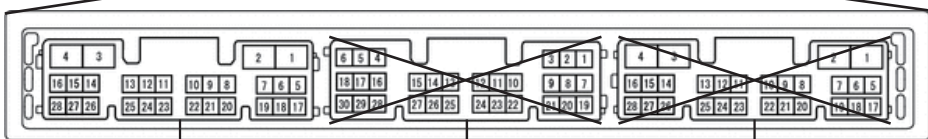


図 E



図 F

▼ 注意 ▼
ラジオレシーバー ASSY を背面から見えています。左右の間違いにご注意ください。



28 極コネクター
左側 (運転席側) に
本製品のハーネスを接続してください。

30 極コネクター

28 極コネクター
右側 (助手席側) には
本製品は接続しません。 ● かん合 ○ ボルト

取り付け後の確認作業事項

バッテリー端子を外す事でシステムの学習が一部リセットされます。必要に応じて学習を行ってください。事前に自動車ディーラーに必要な学習、再設定方法を確認してから作業を行うことをお勧めします。下記は一例となります。

★フロントカメラシステム、アダプティブハイビームシステム
メーター車速 35km/h 以上で 5 秒以上直進走行する。

★パワーバックドアシステム
バックドアを手動で全閉にする。

▲ TV、映像視聴中の動作について ▲

本製品は TV モード時 (TV 視聴可能状態) で約 60km/h※以上で走行を続けると、TV および映像視聴中約 2 分間隔※で地図画面や黒画面が割り込み、再び TV および映像画面に戻るといった画面の遷移が生じます。これは車両のエラー回避のためにソースの割り込みを行う本製品の制御によるもので、本製品やディスプレイオーディオの不具合や故障ではありません。

※ 条件となる車速や制御時間は、車両や走行の状況・条件などで変わることがあります。

▲ 使用上の注意事項 ▲

本製品を TV モード (TV 視聴可能状態) で使用する場合、自社位置の動きが下記のような状態となりますが異常ではございません。予めご了承ください。
ナビゲーション使用時は必ずノーマルモード (TV 視聴不可状態) でご使用ください。

- ・ 自車位置が純正のように滑らかではなく、若干精度も悪くなります。
- ・ 並走する道路がある場合、カーブや分岐地点などで並走する道路にズレて進んでしまう場合があります。この場合、並走区間が終了するまで、現在走行している道路に戻らない場合があります。
- ・ ルート案内の際、音声案内がナビ画面に表示される残り距離と異なる距離の案内となる場合があります。
- ・ 車速が約 150km/h 以上になると、TV 視聴ができなくなります。車速が約 150km/h を下回ると TV が視聴可能な状態に戻ります。
- ・ Toyota Safety Sense および、トヨタチームメイトの一部システムが正常に動作しない場合があります。

▲ 純正ドライブレコーダーについて (搭載車のみ) ▲

本製品は TV モード時 (TV 視聴可能状態) ではナビゲーションの自車位置の動作が純正とは異なるため、標準装備およびメーカーオプションのドライブレコーダーで記録したデータの位置情報が不正確となる場合があります。「手動録画」「イベント録画」「駐車中の録画」の「録画地点」で地図上に表示されるアイコンが、実際に録画した地点とは異なる場所に表示される場合があります。録画日時や走行速度は正確な情報が記録されます。